



今 あなたは、毎日学校に行くのが楽しいですか？

福岡県小学校教員 福田 雅彦

今 あなたは、毎日学校に行くのが楽しいですか？

子どもたちと、心に余裕を持って向き合えていますか？

今の学校は、あまりにも指導しなければならぬことが多過ぎます。日常的生活指導はもちろんのこと、最近では、以前にはなかった〇〇教育なるものが目白押し。たとえば、情報教育、環境教育、食育、薬物乱用防止教育、伝統文化教育、それに英語教育にプログラミング教育などなど。それに今は、新型コロナウイルス感染防止対策のための様々な作業が加わりました。

あれも大事、これも大事。何でも一度始めたらなかなかやめられないのが現実。大体において教職員は真面目です。だからどれにもしっかりと力を注ぐ。しかし、「子どものため」と、何でもかんでも真剣に行っていたのでは、時間も足りないし、身体ももたない。いつかは身体を壊すか心を壊すかです。それはけっして子どものためにも自分のためにも家族のためにもなりません。今こそ働き方改革、私たち教職員の意識改革・行動改革が求められているのだと

思います。

子どもにとって楽しい学校、毎日起きると、早く行きたいなと思える学校を創ることは、私たちにとって重要な課題です。数値的な学力さえ上げればいじめや不登校がなくなるということは、絶対にありません。

私たちが子どもの前に立った時、元気がなく、覇気がなく、笑顔がなく、疲れ果てた姿だったなら、子どもたちは決して魅力を感じてくれないでしょう。私たちは子どもたちに夢を語り、失敗も語り、笑顔で接し、時には腹の底から怒り、教職員としても人間としても魅力ある存在でいたいものです。

そのためにも私たちは、心も身体も元気でないといけません。まず周りの仲間・同僚と話し、何かできることから少しずつでも始めてみませんか、自分のためにも、「子どもたちのため」にも。

